

生徒アンケートまとめ

ベトナムチーム 多胡香穂里（市立船橋高校）

【これからの日本の古典教育、どうなる？】

- ・続けてほしい。そのまま読めるのはすごいし、昔の文化を学んでみたい。
- ・昔の中国の人の言葉が新たに発見されたとき、読める人がいなくなると困るから続いていくと思う。
- ・過去を知って楽しむことが増えてくると思う。
- ・文化を大切にしようとして、古典を勉強すると思う。
- ・日本が清水寺や金閣などの伝統的な建築物を大切にする限り、続いていくと思う。
- ・自分で書いて伝えることがなくなるかも。
- ・知らなくても困らないし、いらなくなると思う。
- ・調べ尽くして、いつかなくなると思う。
- ・学生の学ぶ意欲は減ると思うけど、それでも文化を伝え続けるべきだと思う。
- ・みんなが学ぶ意味をわかっていないまま学習したら、意味がないものになると思う。
- ・また新しい文法が出てくるから、未来的には、今やっている文を学んで、今学んでいる古典は忘れられてしまうのではないか。
- ・いろいろな技術が発達しているからこのまま続かない気がする。
- ・学びたい人だけ学ぶことになっていきそう。
- ・意味がわかればいいと考えると、ベトナムのように、現代文に直されていきそう。
- ・時間数が少なくなっていくそう。
- ・古典の勉強はあるが、なくても不自由なことはないと思うから、なくなると思う。
- ・続くと思う。ノートとかじゃなくて、タブレットとかになってるかも。
- ・ノートに自分で書くのではなく、iPadなどで訳してもらえるようにもなりそう。

【なぜ古典を学ぶのか】

- ・国の文化を受け継ぐため。今の日本を次の時代に伝承するため。
- ・過去を知るため。
- ・今とどう違うのか、共通性を知るため。
- ・昔と今の感じ方の違いや、同じようなことを思っていることを楽しむため。
- ・歴史や文化を知ることによって他国の人との交流につなげるため。
- ・温故知新！
- ・新しい文化をつくるため。
- ・自分たちの文化を見失わないため。
- ・先人たちが何千年もに渡って受け継いできた日本だけの文化を失わないため。
- ・古くからの日本の文化を大切に、忘れないため。
- ・他の文化を知る前に、自分たちの文化を知らないで恥をかくから。

- ・自分たちの歴史を学ぶのは楽しいから。楽しみながら知るのが大切。
- ・世界の様々な言語を照らし合わせて、いろいろな文学作品を学んでいくことで、人間としてふさわしい考え方を作るため。
- ・この先古典を学ばなくなり、どんどんアメリカや世界に染まっていったら、日本は日本ではなくなってしまう気がする。日本が日本であるためにも、古典や歴史は学ぶべき。
- ・次々と新しいものができて変わっていく現在だからこそ、昔からの、変わらない文化を学び、今までの歴史などを知り、伝えないといけないので、古典を学ぶのだと思う。
- ・昔の文化に触れ、現代に生かせることがあるかもしれないので、続けていくと思う。

【感想】

- ・違う国の文化を知ることができた。
- ・新しい発見ができて楽しかった。
- ・古典は国によってそれぞれ大きく変わるということを改めて知ることができた。
- ・ガイドブックなどではあまり見られたいところもあり、とても面白かった。
- ・ベトナムも漢字があったとは知らなかった。ベトナムに興味を持った。
- ・日本では「桃太郎」が有名だけど、ベトナムにも誰もが知っている有名な話があるんだなと思った。他の国にも有名なものがあるのかな。
- ・日本に生まれた身として、ただの教科の一つとしてではなく、文化を学ぶという意味で、これからの古典の授業を受けていきたい。
- ・得意じゃないし好きじゃないけど、大切なんだなと思った。
- ・未知の体験がたくさんあって楽しかった。
- ・外国に行きたくなった。
- ・途中途中、よくわからなくなった。
- ・日本のように、ひらがな・漢字・カタカナがあったり、文字が昔からあったことが珍しいことを知りました。授業の中で言っていた、これから国語の授業が減って英語が増えると、確かに日本の文化の“文字”の大切さが薄れるのは悲しいと思いました。
- ・日本で当たり前のように昔の文学作品とかが残っていて、古典を勉強できることは当たり前でないとすごく感じた。
- ・自分は今まで日本から出たことがないので、文字がない、漢字がないと言うことを体験したことがないので、すごく不思議に思いました。実際に海外に行き、いつか自分で他国の古典や日本でもやっている授業の違いを見つけてみたいなと思いました。注※教育系志望の生徒の感想。
- ・古典はあまり好きじゃなかったけれど、今回の話を聞いて、もう少し頑張ろうと思った。
- ・国や文化が違うだけで言葉の伝わり方が変わるのがすごいと思った。
- ・今まで、この世はグローバルだというような話がたくさん出ていますが、グローバルをしよう

と言っているだけで、しっかりとした意味でこれらにつなげることは考えられていなかったと思います。今回の授業で、グローバルの考え方が変わったし、自分もそういうことをしたい！！

- ・どうして古典を学ぶのかを考えず、いつも勉強していたので、考えるきっかけになりました。
- ・古典はあまり得意ではないけど、大切な科目だと思いました。

【書写まで終えての、まとめの感想】

- ・古典の勉強をしてから書道をしたので、きれいに書くこともそうですが、今まで授業をしてきた漢字の成り立ちなどを考えながら書きました。普段、スマートフォンなどで文字を簡単に打てたり、授業中に書く字も、文字をちゃんと意識して書いていなかったのが、ちゃんと筆で書くことは新鮮だったのと、改めて「書く」というのは大切だと思いました。楽しかったです。
- ・古典は、中学の頃から学んでいることで、なぜ学んでいるのか深く考えたことはありませんでした（古典は、学ぶのが当たり前という感覚）。世界に目を向けると、古典は学ばれない国もあるのだと思いました（海外の方がよく学ばれていると思っていました）。
- ・久しぶりに筆ペンだったが、書くことに楽しみを感じることができた。もっと書きたい。
- ・もっと字をまっすぐ書けたらいい書き初めになったと思いました。
- ・今の時代にはない言葉の伝え方、使い方を体験して言葉にある想いが似ているようで全く違うものなのだと思った。書道は、本当の意味で文字に触れることができ、筆で漢字を書く難しさを再確認した。
- ・習字は日本の文化ですが、今は結構世界にも出回っていて、世界の文化になりつつあって、書くとき意外にもスッキリして楽しかったです。注※日本独自の文化ではない。
- ・ベトナムの古典教育や文化など驚くことばかりで、各国で全然違うものなんだと実感しました。他の国はどういう教育をしているのか気になりました。
- ・ベトナムと日本の古典教育をした後に、自国の伝統文化としっかり向き合う機会ができて面白かったです。
- ・古典は実際にその時代の人と会って話を聞いているわけでもないのに、話に入り込めそうな感じがして、短い文章でも多くのことが伝わるのだなと思いました。古典とは、今で言う「日記」や「絵本の童話」に近いのかなと思いました。
- ・古典は本当に難しく、テストで思うように点が取れなかったです。来年はもっと努力していい点取れるように頑張ります。
- ・書道は苦手だけど、やっているときはすごく集中できたし、一文字でも上手に書けた字があったらすごく嬉しかったです。古文の授業は楽しくて好きです。文法とか難しいことはたくさんあるけど、お話の内容は結構あほなものだったり、ためになるものだったりして、理解できたらすごくおもしろいので、理解できるようになりたいです。
- ・古典の授業は、現代文の時よりも好きです。現代語訳をすることは、すごくむずかしいし大変だけど、意味がわかると楽しいです。
- ・はじめて、書き崩した書道をやってみて難しかったけど楽しかったです。日本は書道を通して

文字の美しさを表すことができ、大切な文化だなと思いました。

- ・中国から伝わってきた言葉の意味が知れたり、書けることはいいと思いました。
- ・古典をしてきて、日本はたくさん残っていると思った。
- ・世界のどの国に行っても、やはり昔の漢字や文字は決して書きやすいわけではないなと、今回の書き初め大会をやって思いました。字の美しさを極めるのはやはり簡単なものではないなと思いました。
- ・今回やった、書き初めのような日本文化を久しぶりに体験することができてよかった。授業以外で筆を持つことはないの、本当にいい機会だった。書き初めは左手では書けないので、右手の練習しようと思います。注※今回は、左利きの生徒は左右どちらで書いてもよいと伝えた。
- ・古典は文字があったからこそ現代まで伝わっているのだなと思った。昔の人におきた出来事などは現代にないものが多く、読んだりしていても面白かった。書き初めは難しかった。ただ古典を学ぶだけではない授業もあったので、いろいろなことを知れてよかった。
- ・古文を始めたころは、勉強しても大変なだけだったけど、古文の勉強を理解するにつれてどんどん楽しくてもっと知りたいと思うようになってよかったです。
- ・小学校の時に習字を習っていたので、すごく楽しかったです。「奥の細道」はうまい人ばかりだったので、違う作品を書いてみたいと思いました。
- ・同じ古典をしているのに、国が違うだけで多くの違いがあることが興味深かった。最初、古典は日本でしかやらないと思っていたので、ベトナムで古典を学んでいることを知ったときはとても驚いたし、古典の大事さを感じた。
- ・字を書いたりするのは好きじゃないし、タブレットとかになったらいいなって思っていました。でも、古典をやって、字を書いて、学ぶことは、大切だと思った。でも、習字だけは好きになれないし、もう、やりたくない。
- ・授業で、古典をやると難しいイメージがあり、苦手意識を持つことが多いが、日本の文化の一つとして、先人たちの知恵の一つとして、これからはなくさないように受け継いでいかなければいけないと思った。
- ・良いことだけど、私にとっては、とってむずかしいハイレベルなことだなって思いました。
- ・音楽や美術と同じく、そのものの良さがあるので、訳だけ学ぶのはつまらないと思う。
- ・古典を持つ国と持たない国との違いを比べて、また古典の価値を見直すことができたのでよい機会になった。
- ・自分は中学の時から古典が得意じゃないし好きじゃなくて、授業がつまらなかつたけど、高校に入って、古典を学ぶ意味を学んだり、作品をやっていくうちに、いろいろ理解できることが多くなって、まだ得意ではないけど、前に比べたら苦手意識がなくなってきたから、この調子で2年生でもがんばっていきたい。
- ・歴史を知らなくても生きていけるけど、知っていると考え方は変わってくるから、知っておいて損はないと思うし、場所、国は違っても理解できることが増えたと思った。
- ・昔の人は全部筆で書いていたんだと思うと、大変そうだなって思いました。